

研究にご協力していただける方を募集しています

【研究名称】

車椅子利用者・アスリートの手部末梢神経障害による知覚障害の程度に関する研究

【背景】

- ✓ 現在、車椅子スポーツ選手の**手部末梢神経障害**の報告が多くされています。その原因として車椅子操作時の手関節や手指の過度な運動が考えられます。
- ✓ 手部末梢神経障害とは、別名ニューロパチーと言い、筋力低下、表在及び深部感覚障害、異常感覚、
- ✓ 歩容異常、関節可動域制限などを呈する病態です。
- ✓ 手部の末梢神経障害の評価方法については、電気診断法や**Semmes Winestain Monofilamen test (以下SWT)**によって評価します。SWTとは、末梢神経障害の閾値を調べ、マッピングし神経損傷レベルや程度を把握することができる**感覚機能検査**の1つです。
- ✓ 安全に且つ簡便に評価ができるSWTを用いて、車椅子利用者・アスリートの末梢神経障害の有無を調査し、今後の車椅子スポーツの更なる発展に貢献すると考えます。

【本研究の目的】

車椅子利用者・アスリートの手部の末梢神経障害の有無を調査することです。また、調査内容を元に今後の車椅子スポーツ選手へのケアを行い、競技の質の向上を目指すことです。

【対象者】

以下の基準を満たす方を対象とさせていただきます。

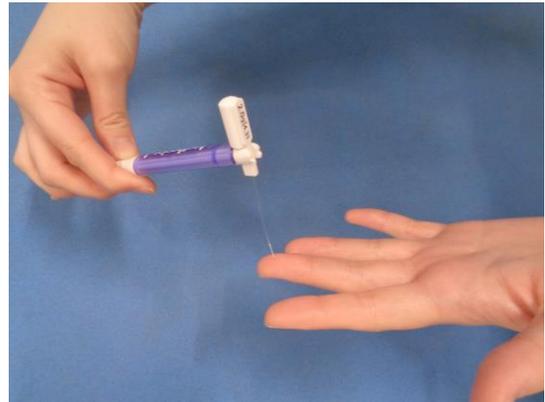
1. 日常的（日中8時間以上）に車椅子を利用している者
2. 手指欠損のない者
3. 認知症のない者
4. 脊髄損傷レベルがTh5以上の者
5. 頸髄損傷・頸椎病変のない者
6. 以下の病態を持たない者
 - a) 糖尿病
 - b) 甲状腺機能低下症
 - c) 関節リウマチ
 - d) ステロイド透析
 - e) ホルモン補充療法
 - f) 卵巣摘出
 - g) 手関節骨折
7. 上肢外傷や術後、腱鞘炎、血管腫、脂肪腫、骨の異常などの局所損傷の病歴がない者
8. 脳卒中による片麻痺のない者
9. 四肢麻痺のない者

【方法】

- ① 車椅子座位または臥位姿勢で行います。
 - ② 左右の手掌・手指にSWTで使用するフィラメントで刺激します。
(緑3回→青3回→紫1回→赤①1回→赤②1回の順で刺激します)
 - ③ 触れたと感じたタイミングで返事をさせていただきます。
- ※触覚のみの検査になりますので、視覚（場合によっては聴覚）を遮断する環境で行います。

【実施場所・日時】

- ✓ 場所：明野中央病院 3階リハビリテーション室
 - ✓ 所要時間：約1時間程
- ※日時・場所は相談の上、決定します。



指先の感覚検査の様子
写真右 被検者の手
写真左 検査者と検査器具

研究参加を検討される方、質問のある方はご連絡ください。

【連絡先】

医療法人唱和会 明野中央病院

てらじ ななこ
リハビリテーション部 寺司 奈々子
いぶすき たつる
指宿 立

電話番号：097-558-3211

E-mail：rehaforall@akenohp.jp